



兵庫県立  
芸術文化センター

兵庫県立芸術文化センタープロデュース

出演  
莊村清志

# フラメンコ クラシコを舞う

日本を代表するギタリスト 莊村清志の演奏と

日本フラメンコ界のパイオニア 小松原庸子の

小品を同時に堪能できる 稀少な公演

出演

奥濱春彦

谷淑江 田尻希絵 北山由佳 玉沖朋子

ミゲル・デ・バダホス(歌)

高橋紀博(ギター) 寺嶋千紘(ピアノ)

予定楽曲

愛のアランフェス アストウリアス グラナダ



7月21日 2013 日 日

開演 3:00 pm (開場 2:30 pm)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

阪急西宮北口駅南改札口直結 / JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

◎ご予約・お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

(10:00AM~5:00PM/月曜休※祝日の場合翌日)

インターネット予約 <http://www.gcenter-hyogo.jp>

4,000円(全席指定・税込) 一般発売 4月14日(日)

4月12日(金)芸術文化センター会員先行予約受付開始

※窓口での販売(残席がある場合)は4月16日(火)より

構成・振付・プレトールク  
小松原庸子

主催 兵庫県 兵庫県立芸術文化センター 企画・製作 兵庫県立芸術文化センター  
制作 小松原庸子スペイン舞踊団 兵庫県立芸術文化センター

※未就学児はご入場いただけません。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。その場合、払い戻し等は行いませんので、予めご了承ください。



SHOMURA  
KIYOSHI

莊村  
清志

1947年岐阜県出身。64年スペインのマドリッド音楽院に留学。69年デビュー。2009年にデビュー40周年を迎えた実力、人気ともに日本を代表するギター奏者。ソロ活動に加えて、フルート、ピアノ、ヴァイオリン、チェロや声楽等との共演にも積極的に取り組み、ギターの魅力をさまざまな形で伝えている。07年にはNHK教育テレビ「趣味悠々」に講師として出演。08年にはスペインでビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演するとともに、《アランフェス協奏曲》を録音。09年5月にリリースされたCDは名盤として注目を集め、同団との日本ツアーも好評を博した。東京音楽大学客員教授。小松原庸子とはスペイン留学時代からの友人で、12年2月新国立劇場における『小松原庸子、スペインと50年「フラメンコ オペラを舞う」』にも特別出演、圧倒的な技量で客席を魅了した。



小松原  
庸子

KOMATSUBARA  
YOKO

メンコを選んだ」を王宮アルカーサルで初演し、89年にはマドリッドのテアトロ・エスパニョールで1週間満員の再演を果たす。  
91年画家フリオ・ロメロ・デ・トレスの絵画の世界を表現した「コルドバの詩」を創作。92年には万博記念コルドバ芸術祭に同作品を上演し益々その評価を高めた。  
93年「小松原庸子スペインと30年」特別記念公演「カルメン」を上演。  
96年紫綬褒章を受章。  
99年、舞団舞踊団創立30周年記念公演のフィナーレに、舞踊団旗揚げの公演「血の婚礼」を新たに上演。同年、'92年セビージャ万博記念の「コルドバの詩」を演出も新たに「遙かなるコルドバ」として上演。(両作品とも文化庁舞台芸術振興事業)。  
2000年、東京日比谷野外大音楽堂での恒例の「真夏の夜のフラメンコ」は30回目を迎え、文化庁芸術活動推進事業のニューヨーク、初のサンパウロ公演も大成功。  
01年フラメンコの歴史を振り返る意欲作「フラメンコ過去 現在 そして…」を上演。  
02年「小松原庸子とスペイン40年」の年、スペイン・ラ・ウニオンとグラナダ及びサンパウロ公演。権威あるラ・ウニオン国際フェスティバルに招待され、外国人として初めて「フェスティバル開会の辞」を述べ、「血の婚礼」を上演。  
04年、舞踊団創立35周年を迎え、多くの記念事業を企画、活発な創作活動を続ける。旭日小綬章を受章。  
05年、アンダルシア州知事より「アミーゴス・デ・アンダルシア」を受ける。  
06年、スペインにおいて優れた芸術家に贈られるAPDE賞、及びフラメンコの最も権威ある「コンパス・デル・カンテ」を同時に受賞。また、東京新聞より舞踊芸術賞を受賞。  
07年、常磐津とのコラボレーション「炎とフラメンコ」を上演、絶賛される。秋には韓国、そして初の中国公演。  
08年、次年度スタートする舞踊団創立40周年記念事業のプレイベントとして、「フラメンコその神秘と情熱」を初の能楽堂公演として開催。  
09年、舞踊団創立40周年記念として、舞踊団の往年の名作「カルメン」「ドウエンデ・デル・フラメンコ」を東京芸術劇場で上演。スペイン国王陛下より「イサベル女王勲章エンコミエンダ章」を受章。秋には、スペイン公演と初のイスラエル公演。  
10年、新国立劇場で林英哲氏の太鼓とドラントのピアノとのコラボレーション「HIBIKI-西と東-」。また愛知県芸術劇場で「フラメンコその神秘と情熱」。東京の夏の風物詩「真夏の夜のフラメンコ」は第40回を迎える。秋には、フラメンコ界最大のフェスティバル「第16回ビエナル・デ・フラメンコ」に参加。また日墨交流400周年記念の一環として「浄瑠璃フラメンコ」をメキシコ国内4箇所で開催。  
11年、41年目を迎えた恒例の野外フェスティバル「真夏の夜のフラメンコ」を、東日本大震災復興支援チャリティー・フェスティバルとして開催。スペインから巨匠達が来日。公演は大成功に終わり、収益の一部を義援金として、福島県南相馬市に寄付。  
12年、渡西50周年を記念した、『小松原庸子 スペインと50年「フラメンコ オペラを舞う」』を開催。新たな可能性を示唆した作品として脚光を浴びた。

東京都出身。幼少時より三味線、日本舞踊、クラシック・バレエを習得。15歳より小牧バレエ団の公演に出演。後に俳優座養成所に入所。  
1959年単身スペインに渡る。修行の後、ラファエル・デ・コルドバ舞踊団に入団。世界各国の公演に参加する。  
65年に帰国、スペイン舞踊研究所を開所。69年小松原庸子スペイン舞踊団結成。  
78年数々の実績により、スペイン政府から「イサベル・ラ・カトリカ勲章」を日本女性で初めて受勲。  
83年、天才画家ゴヤを描く「ゴヤ・光と影」を創作、文化庁舞踊部門芸術大賞受賞。外国のスペイン舞踊団として初めてセビージャ、バルセロナ、マドリッド各市に招かれ公演、絶賛を博す。  
86年テアトロ・エスパニョールに招かれ「ゴヤ・光と影」を10日間再演、大好評を得る。  
87年よりスペイン舞踊の発展と若手舞踊家の育成を目的とした本格的なフラメンコ・コンクール「ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ・東京」を開催。  
88年「セビージャ・ビエナル・デ・アルテ・フラメンコ」に招かれ自伝的作品「私はフラ

7月21日(日)  
開演(3:00pm) (開場(2:30pm))  
4,000円(全席指定・税込)

一般発売4月14日(日) 芸術文化センター会員電話予約受付開始4月12日(金)

電話 予 約	●芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255	イン ター ネ ット	●芸術文化センター <a href="http://www.gcenter-hyogo.jp">http://www.gcenter-hyogo.jp</a>
	●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード426-609]		●イープラス <a href="http://eplus.jp">http://eplus.jp</a>
	●ローソンチケット 0570-000-4097 (オペレーター対応) 0570-084-005 [Lコード54170]		●チケットぴあ <a href="http://pia.jp/t/">http://pia.jp/t/</a> ●ローソンチケット <a href="http://l-tike.com">http://l-tike.com</a>

直接購入 ●芸術文化センター2階総合カウンター (4月16日(火)より、残席がある場合のみ)  
●ローソン ●サンクス ●ファミリーマート ●セブンイレブン ●サークルK

◎お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255  
※プレイガイドでの取扱いについては、各プレイガイドにお問合せください。



先行予約会員募集中!  
詳しくは、<http://www.gcenter-hyogo.jp>

便利なアクセス!!  
大阪・梅田からも神戸・三宮からも  
ホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口直結(連絡デッキで直結)  
◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)  
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

